

第60期 中間報告書

2020年1月1日から2020年6月30日まで



第 20 回 厨房設備機器展（HCJ2020）当社出展ブース



大和冷機工業株式会社

<http://www.drk.co.jp>

証券コード 6459

株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、2020年6月30日をもちまして、第60期事業年度の中間期（2020年1月1日から2020年6月30日まで）を終了致しましたので、この期間の事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年9月



代表取締役社長
尾崎 敦史



事業の概況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による企業収益の急速な減少、雇用情勢の悪化等により大幅に下押しされており、非常に厳しい状況が続きました。また、海外経済におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により世界同時不況に陥り、先行き不透明な厳しい状況で推移しました。

当社の主要取引業種である外食産業においては、感染防止対策として政府より発出された緊急事態宣言により、営業自粛や営業時間の短縮を余儀なくされ、また不要不急の外出が控えられた結果、利用客の減少や売上的大幅減等、非常に厳しい状況にありました。

このような状況のもと、当社にあっても緊急事態宣言下においては時差出勤や在宅勤務を行いました。一方、顧客には衛生管理や感染症への対策として電解次亜水生成装置の提案を行うと共に、営業所で生成した電解次亜水を無料配布することで顧客のサポートに努めました。また、感染症拡大の影響により利用客が減少している飲食店に対しては、テイクアウトの導入や食材ロスの削減に資する真空包装機等の新調理機器の提案を行い、顧客の店舗運営に貢献できる取り組みを行ってまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高173億4千3百万円（前年同期比10.6%減）、営業利益19億5千9百万円（前年同期比34.4%減）、経常利益15億8千3百万円（前年同期比48.3%減）、四半期純利益9億4千万円（前年同期比54.3%減）となりました。

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えない現状においては、企業収益や雇用情勢にとって不確実性が継続することにより、予断を許さない厳しい経営環境が続くものと予想されます。

このような環境のもと、当社は、社業の安定成長を図るため、顧客のニーズを的確かつ迅速に捉えて新製品の開発と新規顧客の開拓に繋げ、常に安全・安心を提供できるサービス技術の一層の強化等、顧客の信頼に応える諸施策を積極的に推し進め、かつ、製造コストと経費の削減を図り、収益基盤の改善に努めてまいり所存であります。

なお、中間配当金につきましては、1株につき5円とさせていただきましたので、ご報告申し上げます。

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
期 別 科 目	当第2四半期会計期間 2020年6月30日現在	前 期 2019年12月31日現在	期 別 科 目	当第2四半期会計期間 2020年6月30日現在	前 期 2019年12月31日現在
流 動 資 産	58,533	57,714	流 動 負 債	8,836	9,776
現金及び預金	49,211	50,627	支払手形及び買掛金	4,421	4,840
受取手形及び売掛金	4,209	3,501	未払法人税等	698	1,006
有 価 証 券	1,198	-	引 当 金	362	370
商品及び製品	2,105	1,956	その他の流動負債	3,353	3,558
仕 掛 品	383	280	固 定 負 債	2,152	2,116
原材料及び貯蔵品	806	774	退職給付引当金	818	799
点検修理用部品	179	176	役員退職慰労引当金	1,325	1,307
その他の流動資産	439	399	その他の固定負債	9	9
貸倒引当金	△ 1	△ 1	負 債 合 計	10,989	11,892
固 定 資 産	18,339	19,870	純 資 産 の 部		
有形固定資産	9,257	9,489	株 主 資 本	65,859	65,686
無形固定資産	176	142	資 本 金	9,907	9,907
投資その他の資産	8,905	10,238	資 本 剩 余 金	9,867	9,867
投資有価証券	412	2,006	利 益 剩 余 金	46,534	46,361
その他の投資	8,646	8,386	自 己 株 式	△ 450	△ 450
貸倒引当金	△ 153	△ 154	評価・換算差額等	23	5
			その他有価証券評価差額金	23	5
資 産 合 計	76,872	77,585	純 資 産 合 計	65,883	65,692
			負債・純資産合計	76,872	77,585

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
(当第2四半期会計期間)
2. 有形固定資産の減価償却累計額 15,624百万円

四半期損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第2四半期累計期間 2020年1月1日から 2020年6月30日まで	前第2四半期累計期間 2019年1月1日から 2019年6月30日まで	前 期 2019年1月1日から 2019年12月31日まで
売 上 高	17,343	19,400	40,149
売 上 原 価	7,008	7,558	16,048
売 上 総 利 益	10,335	11,841	24,101
販売費及び一般管理費	8,375	8,853	18,134
営 業 利 益	1,959	2,988	5,966
営 業 外 収 益	88	214	365
受取利息及び配当金	31	35	65
受取補償金	32	26	50
投資有価証券評価益	—	93	160
その他の営業外収益	24	58	88
営 業 外 費 用	463	138	366
スクラップ処分費	156	117	317
有価証券評価損	286	—	—
その他の営業外費用	20	20	48
経 常 利 益	1,583	3,064	5,966
特 別 利 益	—	—	100
投資有価証券売却益	—	—	11
固定資産売却益	—	—	89
特 別 損 失	135	0	15
固定資産除却損	0	0	15
その他の特別損失	134	—	0
税引前四半期 (当期)純利益	1,448	3,064	6,050
法人税、住民税及び事業税	587	984	1,855
法人税等調整額	△ 78	20	123
法人税等合計	508	1,005	1,978
四半期(当期)純利益	940	2,058	4,071

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第2四半期累計期間 2020年1月1日から 2020年6月30日まで	前第2四半期累計期間 2019年1月1日から 2019年6月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 13	1,730
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 630	1,667
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 772	△ 1,519
現金及び現金同等物 の増減額	△ 1,415	1,879
現金及び現金同等物 の期首残高	50,427	46,926
現金及び現金同等物 の四半期末残高	49,011	48,805

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、新型コロナウイルス感染症による活動自粛等の影響により税引前四半期純利益が1,448百万円（前年同期比52.7%減）と低迷する等、営業活動で資金が減少する厳しい状況にあり、更に投資活動や財務活動でも資金が減少した結果、前事業年度末と比べて1,415百万円減少の49,011百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の減少は、13百万円（前年同期に増加した資金は1,730百万円）となりました。これは主に、法人税等の支払額875百万円、売上債権の増加708百万円、仕入債務の減少419百万円等が、税引前四半期純利益1,448百万円、減価償却費463百万円等を上回ったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、630百万円（前年同期に増加した資金は1,667百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出530百万円、定期預金の預入による支出200百万円等が定期預金の払戻による収入200百万円を上回ったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、772百万円（前年同期に減少した資金は1,519百万円）となりました。これは主に、配当金の支払額772百万円であります。

感染症対策に有効な電解次亜水を無料配布

4月より感染症予防対策として、東京本社で電解次亜水の無料配布を行いました。

当社のお客様や東京本社の近隣住民、企業の皆様に無料引換券を配布し、来社いただいた方に提供。

また5月から全国の事業所では、社用車に電解次亜水入りのタンクを積み、お客様のもとへ配達をしております。

お配りした皆様からは大変感謝いただいております、当社社員も非常に前向きに取り組んでいます。



近隣住民の皆様とお客様の声

- 除菌類が売り切れで困っており、本当に助かりました。
- 近くの企業からこのようなご厚意を受けたのは初めてで、気持ちが良いです。
- 関係のない一般の住宅にも配布してくれて素晴らしい会社ですね。

等たくさんのお礼と感謝のメッセージをいただきました。



電解次亜水生成装置を寄贈

社会貢献活動の一環として電解次亜水生成装置を大分県に5台、大分県佐伯市に6台を寄贈し、農業・水産系学科のある県立高校や消防署、保健福祉施設などに設置されました。

高校では、HACCPに基づく取り組みによる衛生教育や食品作りに活用。

佐伯市では感染症対策として、電解次亜水を市民の皆様に無料配布し、地域の皆様の安心・安全に寄与しました。

この取り組みに対する御礼として、大分県教育委員会及び佐伯市より感謝状の贈呈を受けました。



第20回**厨房設備機器展**(HCJ2020)に**出展**

2020年2月18日(火)～2月21日(金)

「衛生管理 × 省力化 理想の厨房にステップアップ」と題し、2つの調理実演ステージと新調理システム機器、次世代の新製品でお客様を出迎えました。

新製品(参考出品)の「小扉スライド冷蔵庫」「両開きトビラ冷蔵庫」「フットセンサー式自動スライド扉冷蔵庫」「IoT 対応冷凍冷蔵庫」は、他社に無い独創性と先進性に優れた当社独自の製品として、来場客からの反響をたくさんいただきました。

他にもクックチルシステムを再現した新調理機器コーナー、調光 LED と意匠性の高い特注ショーケース、衛生管理に優れた電解次亜水生成装置等の製品を展示し、見応えのあるブースとなりました。



テストキッチン

当社の主力製品をはじめ、スチームコンベクションオーブン・ブラストチラー/ショックフリーザー・真空包装機といった新調理システムを体験できるスペースとなっております。

2019年12月に大阪テストキッチンを開設し、大阪・東京の2拠点でご案内しています。大阪では調理師1名、管理栄養士1名が在籍しており、調理面や栄養面など豊富な知識と経験で多角的にお客様をサポートしています。



2020 NEW MODEL

アンダーカウンタータイプ 製氷機

使い勝手の向上と業界トップの貯水量（自然落下時）となって新登場。



DRI-25LMF



DRI-45LMF

貯水量アップ

背面の凹部を小さくし、庫内容積拡大。
貯水量アップと断熱性が向上しました。

使いやすいロングハンドル

どこからでも扉の開閉が容易に行え、簡単に清掃できます。



201SAGT-18



301SAU-18

大扉冷蔵ショーケース スライド扉冷蔵ショーケース

LED 照明で商品をよりキレイに魅せるショーアップ効果や省エネ設計のショーケース。

LED 照明標準装備

商品をよりキレイに魅せる LED 照明。
長寿命で省エネ性能が向上しました。

Low-E ペアガラス扉

断熱性、透明性に優れた
Low-E ペアガラスを採用。



3010P-DB-EC



6030P-DB-EC

インバータ制御 オープンショーケース

幅広い温度調整が可能
(冷蔵 3 ~ 20℃)

日配・乳製品

温度帯目安
4℃ ~ 10℃

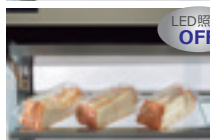
惣菜・弁当

温度帯目安
11℃ ~ 18℃

日配～弁当まで冷蔵ワイドレンジに対応したオープンショーケース。LED 照明で商品をよりキレイに魅せるショーアップ効果やインバータ制御による省エネ性能の向上などデザイン新たに登場。



LED照明
ON



LED照明
OFF



KT301B3

卓上対面ショーケース

カフェ、ベーカリーショップ、惣菜店など店舗のレジ横スペースを有効活用。LED 照明が商品をよりキレイに魅せるショーアップ効果等、プラスワンの販売でお店の売上に貢献します。

会社の概況

2020年6月30日現在

商号	大和冷機工業株式会社
英名	DAIWA INDUSTRIES LTD.
資本金	9,907,039,049円
発行可能株式総数	84,000,000株
発行済株式総数	51,717,215株（自己株式567,971株を含む）
中間期末株主総数	2,728名
大阪本社	大阪市天王寺区小橋町3番13号 大和冷機上本町DRKビル
東京本社	東京都台東区台東2丁目4番3号 大和冷機秋葉原DRKビル
佐伯工場	大分県佐伯市大字長良3325番地6
福岡工場	福岡県太宰府市大字北谷字岸田206番地6
関東大根工場	埼玉県加須市豊野台1丁目345番地5
従業員数	2,495名
事業内容	・ 冷凍・冷蔵庫、ショーケース、製氷機、自販機及び冷熱応用製品の製造販売及びリース並びに点検修理 ・ 冷熱機器の設備の工事及び各種部品の製造販売並びに点検修理 ・ 厨房機器、装置、部品の製造販売及びリース並びに点検修理 ・ 店舗・厨房の企画、設計及び施工

役員

2020年6月30日現在

取締役最高顧問	尾崎 嶋	茂
代表取締役社長	尾崎 敦	史
専務取締役	杉田 壽	宏
取締役	前川 嶋	馨
取締役	小野 芳	明
取締役	齋藤 純	夫
取締役	尾崎 雅	和
取締役	平出 哲	郎
取締役	工藤 一	治
常勤監査役	大津 加	彦
監査役	日下 敏	裕
監査役	楠 裕	美

- (注) 1. 取締役 小野芳明、齋藤純夫の両氏は、社外取締役であります。
 2. 監査役 日下敏彦、楠裕美の両氏は、社外監査役であります。

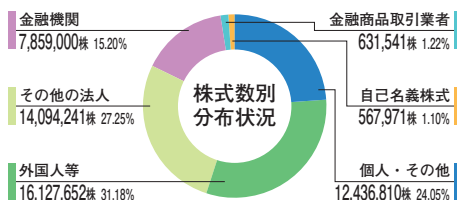
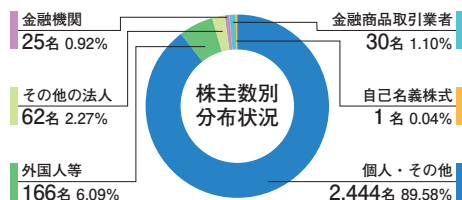
執行役員

2020年6月30日現在

社長執行役員	尾崎 嶋	敦 史
専務執行役員	杉田 前	田 壽 宏
執行役員	尾崎 嶋	田 壽 宏
執行役員	平出 哲	川 嶋 馨
執行役員	工藤 一	前 芳 明
執行役員	久保 雅	嶋 純 夫
執行役員	江村 和	崎 雅 和
執行役員	乾 祥	出 哲 郎
		保 一 治
		村 彦 美
		忠 道

株式分布状況

2020年6月30日現在



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	特別口座の口座管理機関連絡先 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部
公告の方法	電子公告により行う (公告掲載URL http://www.drk.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種のお手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

信頼で結ばれたワイドなサービスネットワーク

「より迅速に、よりの確に」をモットーに、お客様が安心しておいいただけるようトータルサポートでフォロー致します。

